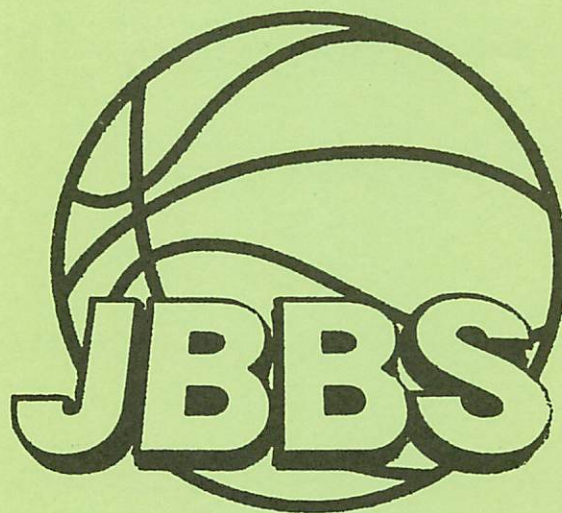


バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:29



2006年4月

日本バスケットボール振興会

MULTI-SYSTEM-

PLANNING & PRODUCE

〔環境の総合情報商社〕

“地球にやさしく” どこかで見たような聞いたような言葉。

あなたはリサイクルに関心を持っていますか？

“地球環境をこれ以上汚したくない” これが私たちの願いであるとともに、人類に課せられた大きな課題です。

当社は携帯電話やパソコンなど、鉄を除いた金属（レアメタル）の回収、再生（リサイクル）を主な業務にしている会社です。

日本のバスケットボールの振興、発展を応援します。

有限会社 エム・エス・ピー・ピー

〒333-0842

埼玉県川口市前川2-33-1

TEL 048-263-7022

FAX 048-269-8009

代表取締役 永野 鉄洋

目 次

- F I B Aバスケットボール世界選手権 3
日本開幕まであと4ヵ月
- 特集
東海大学インカレ初優勝 広報部会 . . . 10
陸川 章ヘッドコーチの指導は
- あの人この人
戦後のバスケットボール界を裏で支えた 歴史編集部 . . . 15
鈴木正三先生（故人）
- J B Lプレーオフファイナル
トヨタ自動車4年ぶり2度目の優勝 17
- W J B Lプレーオフファイナル
接戦の末シャンソンが日本航空を制する 21
- 春季理事会報告 広報部会 . . . 24
- 訃報
奥田 薫さんを偲んで 国松 健一 . . . 33
- 事務局だより 35
- プラザ こぼればなし 36

F I B Aバスケットボール世界選手権

日本開幕まであと4ヵ月

世界各国各地域代表による男子バスケットのワールドカップ、2006年FIBAバスケットボール世界選手権の日本開催まであと4ヵ月となった。

今回はその概要と3月23日に世界同時発売となったチケットなどについてご案内する。注目のアメリカはNBAを中心とする選抜チームで出場予定であり、ヨーロッパ勢を含めた強豪チームがひしめく中、開催国日本はどこまで勝ち残れるか。大きな期待と希望があふれる世界選手権、予選リーグが開催される国内4市の準備状況も含めてご一読を！！

なお、振興会としても全面的にバックアップすることを確認している。

世界選手権について

現在FIBA(国際バスケットボール連盟)には、212の国と地域が加盟しており、バスケットボールの競技人口は全世界で約4億5千万人と言われている。

世界選手権は、1950年アルゼンチンで第1回大会が開催されて以来、4年に1度開催され多くの感動とドラマを生み出してきた。

今回日本で開催される第15回大会は、参加チーム数がこれまでの16チームから24チームに増やされて、より多く世界各国のバスケットボールを見ることができる。

大会は、参加国を4グループに分けた6チームのリーグ戦による予選ラウンドの結果、各グループの上位4チームによるファイナルラウンドによって順位が決まる。

予選ラウンドは、仙台でAグループ、広島でBグループ、浜松でCグループ、札幌でDグループの試合が行われ、その後ファイナルラウンドが「さいたまアリーナ」で開催される。日本はBグループに位置し広島で戦うが、世界の強豪を相手に是が非でもファイナルラウンドまで勝ち残って欲しいものである。

開催にあたって

各開催地では、いろいろと準備に追われているが、私たちは、世界最高峰のタイトルを目指して日本にやってくるトップチームを、感動と興奮を求めて世界から集まるお客様を、そして世界中から集まるマスメディアの人たちをあたたかく迎えて、歴史に残る最高の環境を提供しなければならない。そのキーワードは「ホスピタリティ」となっている。

大会準備委員会では、各会場で競技、運営を支え大会を成功に導くためのボランティアを募集している。ホスピタリティあふれる精神で大会の運営にあたり、世界に誇れるような大会にしたいと願うものである。

日本バスケット界としては、あと4ヵ月後に迫ったこの世界選手権を成功させることが、これからの日本バスケットボールの更なる普及、発展の重要な要因となることを認識しなければならない。

日本が出場するBグループの試合が開催される広島市では、市内を走る路面電車に大会の開催告知をプリントしたラッピング電車が走り、予選リーグの最終日8月24日まで、広島駅から宮島口駅まで、片道約1時間のルートを1日8往復している。



● 参加国・グループ

	グループA	グループB	グループC	グループD
1	ナイジェリア	パナマ	カタール	セネガル
2	レバノン	ニュージーランド	オーストラリア	アメリカ
3	アルゼンチン	ドイツ	トルコ	中国
4	フランス	日本	リトアニア	イタリア
5	ベネズエラ	スペイン	ブラジル	プエルトリコ
6	セルビア・モンテネグロ	アンゴラ	ギリシャ	スロベニア

● 予選ラウンド開催地

[グループA] 仙台市体育館(宮城県仙台市太白区富沢 1-4-1)

[グループB] 広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)(広島県広島市中区基町 4-1)

[グループC] 浜松アリーナ(静岡県浜松市和田町 808-1)

[グループD] 北海道立総合体育センター(きたえる)

(北海道札幌市豊平区豊平 5 条 11-1-1)

● ファイナルラウンド (20 試合) 開催地

さいたまスーパーアリーナ (埼玉県さいたま市中央区新都心 8)

● ゲームラウンド組み合わせ * 各日の試合順、試合開始時間は未定

グループ B 予選ラウンド／広島グリーンアリーナ（日本チーム関係）			
8 月	1 9 日（土）	日本 vs ドイツ	各グループ上位 4 位迄が ファイナルラウンド進出
	2 0 日（日）	日本 vs アンゴラ	
	2 1 日（月）	日本 vs パナマ	
	2 2 日（火）	休息日	
	2 3 日（水）	日本 vs ニュージーランド	
	2 4 日（木）	日本 vs スペイン	
	2 5 日（金）	移動日	
ファイナルラウンド（全 2 0 試合）さいたま市／さいたまスーパーアリーナ			
8 月	2 6 日（土）	ベスト 8 位決定戦（4 試合／日）	各グループ 1 ～ 4 位 ※ 2 試合ごとの入替制
	2 7 日（日）		
	2 8 日（月）	休息日	
	2 9 日（火）	準々決勝（2 試合／日）	ベスト 8
	3 0 日（水）		
	3 1 日（木）	5 ～ 8 位決定戦（2 試合）	
9 月	1 日（金）	準決勝（2 試合）	ベスト 4
	2 日（土）	5 ～ 6 位決定戦、3 ～ 4 位決定戦（ 〃 ）	
	3 日（日）	7 ～ 8 位決定戦、決勝戦（ 〃 ）	

チケットについて

予選ラウンド、決勝ラウンドとも3月23日から世界同時に第一次販売が開始されている。国内では各プレイガイド、JTB各支店、チケットピア、ローソンチケットなどで販売されているが、人気カードについては既に売り切れの情報もある。

詳しくは関連サイト http://www.fiba2006.com/index_j.html をご参照ください。

チケットの種類と価格

第1次販売 3月23日～4月30日

第2次販売 5月20日～6月30日

第3次販売 7月22日～9月 3日 ただし第3次販売は第2次販売で売り切れる場合は販売されない。

【札幌会場】

北海道立総合体育センター（きたえーる）

札幌市豊平区豊平5条11-1

試合日 8月19日（土）～8月24日（木）

休息日 8月21日（月）

席の種類	場 所	価格(税込)
アリーナSS席 指定席	コートサイド	9,000 円
アリーナS席 指定席	コートエンド	7,000 円
スタンドS席 指定席	コートサイド SS席の上段	8,000 円
スタンドA席 指定席	コートコーナー スタンドS席の両脇	6,000 円
スタンドB席 自由席	コートサイド スタンド最上段	4,000 円

【仙台会場】

仙台市立体育館

仙台市太白区富沢1-4-1

試合日 8月19日（土）～8月24日（木）

休息日 8月22日（火）

席の種類	場 所	価格(税込)
アリーナSS席 指定席	コートサイド	9,000 円
アリーナS席 指定席	コートエンド	7,000 円
スタンドS席 指定席	コートサイド SS席の上段	8,000 円
スタンドA席 指定席	コートサイド とコートエンド S席の両脇および上段	6,000 円
スタンドB席 自由席	コートサイド とコートエンド スタンド最上段	4,000 円

【浜松会場】

浜松アリーナ

浜松市和田町808-1

試合日 8月19日(土)～8月24日(木)

休息日 8月21日(月)

席の種類	場 所	価格(税込)
アリーナSS席 指定席	コートサイド	9,000 円
アリーナS席 指定席	コートエンド	7,000 円
スタンドS席 指定席	コートサイド SS席の上段	8,000 円
スタンドA席 指定席	コートコーナー S席の両脇と コートエンドS席の上段	6,000 円
スタンドB席 自由席	コートサイドとエンド スタンド最上段	4,000 円

【広島会場】

広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）

広島市中区基町4-1

試合日 8月19日(土)～8月24日(木)

休息日 8月22日(火)

席の種類	場 所	価格(税込)
アリーナSS席 指定席	コートサイド	9,000 円
アリーナS席 指定席	コートエンド	7,000 円
スタンドS席 指定席	コートサイド SS席の上段	8,000 円
スタンドA席 指定席	コートエンド アリーナS席の上段	6,000 円
スタンドB席 自由席	コートエンド スタンド最上段	4,000 円

【さいたま会場】

さいたまスーパーアリーナ

埼玉県さいたま市中央区新都心8

試合日 8月26日(土) ベスト8決定戦 4試合

8月27日(日) ベスト8決定戦 4試合

8月28日(月)	休息日				
8月29日(火)	準々決勝	2試合			
8月30日(水)	準々決勝	2試合			
8月31日(木)	5～8位決定戦	2試合			
9月1日(金)	準決勝	2試合			
9月2日(土)	3～4位決定戦	5～6位決定戦	2試合		
9月3日(日)	決勝戦	7～8位決定戦	2試合		

日程	アリーナSS席 指定席	アリーナS席 指定席	スタンドS席 指定席	スタンドA席 指定席	スタンドB席 自由席
8/26	12,000円	9,000円	10,000円	8,000円	5,000円
8/26	12,000円	9,000円	10,000円	8,000円	5,000円
8/27	12,000円	9,000円	10,000円	8,000円	5,000円
8/27	12,000円	9,000円	10,000円	8,000円	5,000円
8/29	15,000円	11,000円	13,000円	10,000円	6,000円
8/30	15,000円	11,000円	13,000円	10,000円	6,000円
8/31	12,000円	9,000円	10,000円	8,000円	5,000円
9/1	18,000円	16,000円	17,000円	15,000円	8,000円
9/2	12,000円	9,000円	10,000円	8,000円	5,000円
9/3	20,000円	18,000円	19,000円	17,000円	10,000円

8月26日、27日のベスト8決定戦は2試合毎の入替制

アリーナSS席 コートサイド北側のみ

アリーナ S席 コートエンド西側のみ

スタンド S席 コートサイド両側でアリーナSS席の上部

スタンド A席 コートエンド両側でアリーナS席より上部

スタンド B席 コートサイド&エンドの最上階席

日本代表チーム

日本代表チームのジェリコ・パブリセヴィッチ ヘッドコーチは日本が予選で戦うBグループについて次のようにコメントしている。

「日本にとっては、どの国もタフな対戦相手だと思っている。世界選手権なのだから対戦相手が強いのは当然のことで、良い試合をして予選を通過しベスト16へ進みたい。Bグループの各国をみると、ドイツはダーク・ノヴィスキー（NBA・ダラスマーベリック）というトッププレイヤーがいて、アグレッシブでタフなゲームをするチーム。スペインはNBAプレイヤー、パウ・ガソルが出場してくるだろうし、アンゴラはアフリカ選手権を何度も制している強豪チームだ。



ニュージーランドはリズムに乗ればどの国にも負けないチームだし、パナマは何かやりそうなチームのようだ。

どのチームも強いがスポーツの世界にはいつでも勝つチャンスはある。この3年間、基礎

を築きながら十分に準備をしてきた。対戦チームには優れた選手がいてそれぞれ独自の性格を持っているが、私たちはその性質を見極めて賢いゲーム運びをしなければならない。それには一部のチームに集中してベストを尽くし、勝利をものにするという戦法もあるだろう。

さしずめアンゴラ、パナマ、ニュージーランドといったところだろうが、広島に応援に来てくれる日本の皆さんのためにも頑張らなくてはならない。日本はホームチームとして、大きなアドバンテージを持っているわけだから、多大な応援が期待できる。」

3月18日に発表された日本代表チームの候補選手は次の通りで、この中にはアメリカにいる田臥選手も含まれているが、最終的にはこのメンバーから12名が世界選手権にエントリーされる。

<スタッフ> (一部)

スーパーバイザー 杉浦 良昭 日本バスケットボール協会男子強化部長
 ヘッドコーチ ジェリコ・パブリセヴィッチ 日本バスケットボール協会
 アシスタントコーチ 加賀谷 寿 アイシン精機
 アシスタントコーチ 東野 智弥 日本バスケットボール協会

<選手>

	氏 名	ポジション	身長	体重	年齢	所 属
1	マッカーサー エリック	C	197	105	37	アイシン精機
2	折茂 武彦	SG	190	77	35	トヨタ自動車
3	佐古 賢一	PG	179	80	35	アイシン精機
4	古田 悟	C	199	95	34	トヨタ自動車
5	節政 貴弘	PG	180	78	33	東芝
6	北 卓也	SG	185	80	33	東芝
7	高橋 マイケル	SF	198	92	31	トヨタ自動車
8	松島 ウォルターブラウン	SF	200	95	30	三菱電機
9	渡邊 拓馬	SG	188	83	27	トヨタ自動車
10	青野 文彦	C	210	118	27	松下電器
11	伊藤 俊亮	C	202	98	26	東芝
12	五十嵐 圭	PG	180	67	25	日立
13	網野 友雄	SG/F	196	88	25	アイシン精機
14	田臥 勇太	PG	177	88	25	サンダーバーズ
15	山田 大治	PF	200	88	24	トヨタ自動車
16	柏木 真介	PG	183	78	24	日立
17	桜井 良太	SG	194	75	23	トヨタ自動車
18	大西 崇範	SF	195	97	22	日本体育大学
19	佐藤 託矢	PF	197	110	22	青山学院大学
20	竹内 公輔	PF	205	90	21	慶応義塾大学
21	竹内 譲次	F/PF	205	93	21	東海大学
22	川村 卓也	SG	191	79	19	オーエスジー
—	平 均		193	89.5	27.2	

PG—ポイントガード SG—シューティングガード SF—スモールフォワード

PF—パワーフォワード C—センター

年齢と所属は平成18年3月18日現在

注目のアメリカチーム

今回の世界選手権で注目されるアメリカチームは、代表候補選手23名が3月8日にアメリカバスケットボール協会から発表された。

このメンバーが北京五輪まで続くと思われる。

2006-08 USA Senior National Team Members

氏名	NBA 所属チーム (大学生)	
カーメロ・アンソニー	Carmelo Anthony	デンバー・ナゲッツ
ギルバート・アリナス	Gilbert Arenas	ワシントン・ウィザーズ
シェーン・バティエ	Shane Battier	メンフィス・グリズリーズ
チャウシー・ビラップス	Chauncey Billups	デトロイト・ピストンズ
クリス・ボッシュ	Chris Bosh	トロント・ラプターズ(208cm)
ブルース・ボウエン	Bruce Bowen	サンアントニオ・スパーズ
エルトン・ブランド	Elton Brand	ロサンゼルス・クリッパーズ
コービー・ブライアント	Kobe Bryant	ロサンゼルス・レイカーズ
ドワイト・ハワード	Dwight Howard	オーランド・マジック
レブロン・ジェームス	LeBron James	クリーブランド・キャバリアーズ
アントワン・ジェイミソン	Antawn Jamison	ワシントン・ウィザーズ
ジョー・ジョンソン	Joe Johnson	アトランタ・ホークス
ラシャード・ルイス	Rashard Lewis	シアトル・スーパーソニックス
ショーン・マリオン	Shawn Marion	フェニックス・サンズ
アダム・モリソン	Adam Morrison	(ゴンザガ大学)
ブラッド・ミラー	Brad Miller	サクラメント・キングス(213cm)
クリス・ポール	Chris Paul	ニューオーリンズ・ホーネッツ
ポール・ピアース	Paul Pierce	ボストン・セルティックス
マイケル・レッド	Michael Redd	ミルウォーキー・バックス
ジェイ・ジェイ・レディック	JJ Redick	(デューク大学)
ルーク・リドナー	Luke Ridnour	シアトル・スーパーソニックス
アマレ・スタウドマイアー	Amare Stoudemire	フェニックス・サンズ
ドウェイン・ウェイド	Dwyane Wade	マイアミ・ヒート

◎チーム スタッフ

【ヘッドコーチ】

マイク・シェシェフスキー (Mike Krzyzewski) / デューク大学のヘッドコーチ

【アシスタントコーチ】

ジム・ベーハイム (Jim Boeheim) / シラキュース大学 (ニューヨーク)

マイク・ダントニ (Mike D'Antoni) / フェニックス・サンズ

ネイト・マクミラン (Nate McMillan) / ポートランド・トレイルブレイザーズ

【スカウティング・ディレクター】

ルディ・トムジャノビッチ (Rudy Tomjanovich)

※2000年オリンピックで優勝したアメリカチームのヘッドコーチ。1994年、1995年にはヒューストン・ロケッツをNBAチャンピオンに導いた。

以 上

特 集

—— 東海大学インカレ初優勝 ——

陸川 章ヘッドコーチの指導は

担当：広報部会

大変失礼な話であるが、数年前までは東海大学といってもバスケット界ではあまりピンとこない、関東大学リーグでも2部以下のチームであった。平成12年その東海大学に日体大OBの陸川氏がバスケットボール部のコーチとして招聘された。それから5年、東海大学は居並ぶ古豪チームをなぎ倒し、平成17年ついに学生界の王者に輝いた。電車の中での東海大学吊り広告にも「バスケットボール部優勝」の文字が光る。

今回湘南の平塚市にある広大なキャンパスに陸川氏を尋ねて、その指導方法などを聞いてみた。



陸川 章氏

昭和37年新潟県生まれ、新井高校から日体大へ進みセンターとして活躍。卒業後NKKに所属、センターフォワードで日本代表選手としても注目を浴びた。NKKが廃部となってから2年間仕事に専念した後、アメリカカリフォルニア州立ロサンゼルス校に留学してコーチ学を研究。平成12年(2000)から東海大学ヘッドコーチ。

このたびはインカレ優勝おめでとうございます。初優勝という快挙でしたがいつごろから手ごたえを感じられたのでしょうか。

私としては2005シーズンが勝負の年と思ってやってきました。というのは竹内君をはじめとする主力選手が3年生になって成熟期を迎える中、春の関東大学トーナメント戦で竹内選手が全日本の合宿や東アジア大会出場で欠場だったにもかかわらず、準決勝で日本大学に善戦したときに感じたことです。竹内選手がいないことによって、リバウンドなど自分のチームの弱点が良く見えてきたことと、残った選手がその弱点を克服しようと努力したことなどがひとつの要因だと思います。

夏の合宿のときは竹内選手が全日本代表チームの強化で、また石崎選手がユニバーに行き留守だったこともあり、若手をコンバートしながらJBLの三菱さん松下さんにお世話になり、選手層を厚くしていきました。勝ち負けでいえば到底勝てる相手ではありませんでしたが、いいところまで接戦できたときもあり、その結果が選手の自信につながり秋のリーグ戦ではこれまでにない好成績を収めることができました。

秋のリーグ戦では青山学院大に次いで準優勝でしたね。

いやあ、初戦の専修大に負けたのが大きかったですね。竹内選手が全日本の活動で第3週まで不在だったので、残りの選手をまとめて戦いましたが力及ばずでした。青山学院大

と対戦する週になったとき、相手が全勝でくるとは思っていませんでした。確かに青山学院大は強いチームでしたが、リーグ戦は長丁場でもあり全勝することは難しく、2敗が優勝ラインの分かれ目と予測していたことについては、少し考えが甘かったようです。

東海大の今までの実績からすれば1部準優勝は初めてのことであったので、喜んで良かったはずなのに、優勝できなかったことが選手たちの発奮材料となりました。その結果、私をはじめとしてその後の大会（インカレ）への自信とやる気と集中力につながったのは良かったですね。

大黒柱の竹内譲次選手が全日本の活動などでチームに合流する時期が遅くなりがちなのも苦労するところでしょうか。

その辺は割り切っているつもりです。竹内選手が不在でも同じように戦える選手を育てることによって、チームはさらに強化されますし、彼が途中から合流してもチームワークが崩れることなく戦えるチームにならないといけません。幸い竹内選手はチームにフィットする時間が非常に短くてすむ、順応性が良い選手なので助かっていますが、全日本の活動からチームへ帰ったときの疲労度はかなりのものがあります。

彼は全日本ではフォワードポジションで、チームへ帰ればセンターという切替が必要ですが、私は国際的に通用するためには3ポイントが打ってドライブインもできるようなオールラウンド的な選手にならなければいけないと指導しています。

東海大の指導者になって5年で日本一まで引き上げた実績は大いに評価されてしかるべきと考えますが、ここまでは順調でしたか？

私が就任した時は関東で3部から2部へ昇格したときで、小型のチームながら2部12チーム中5位につけるといふ頑張りを見せました。翌年から2部チームにも拘わらず優秀な素材の選手が入ってきてくれるようになり、それらの選手とそれまでの上級生とがうまく融合してくれてチームに力がつきました。

2002年の春、関東でベスト4に勝ち残ったとき、これはいけそうだと秋のシーズンに臨みましたが徹底的に叩かれました。振り返るとこれが非常に良い経験と転機になった最初で、多くの失敗や苦い経験がそれからの糧になったことは事実です。

良い素材の選手が加わったからといってそう簡単に勝たしてはもらえず、そこからが本当の意味でのスタートになりました。

関東の新人戦で2年続けて決勝で逆転負けを喫したり、1部との入れ替え戦で法政大に負けて1部に昇格できなかったときの挫折感はかなりのものがありました。その挫折感を選手も私もスタッフも共有できたことが良かったのかも知れません。

試合ともなれば勝つに越したことはありませんが、負けることによって得るものも大きいと思うのです。負けた場合は必ずその理由がありますので、反省し対策を考え、悔しさを克服するために更に努力する姿勢が生まれます。

私はどちらかというと後ろ向きの反省よりも前向きな挑戦の方を好む性格ですので、失敗を次へのモチベーションに切り替えようと・・・。

そのことが選手にとっても私にとってもいい刺激となり、チーム全体の改革と練習や試合に臨む体制の変化を引き出すことができました。

選手たちの融合や練習に取り組む姿勢など、体制の変化について陸川さんが気にかけて

ことはどんな点でしょうか

私はいつも選手たちの中心に位置するように心がけています。上級生、下級生、全日本クラスの選手などさまざまな選手がいますが、どちら側にも偏らずに意思疎通を図ったり相手の意見を尊重して指導しているつもりです。

試合ともなればやはり勝つことがひとつの目標となりますので、選手の力量や技術が優先されますが、それまでのプロセスでは選手と一緒に取組みます。体育館の関係で練習時間が2時間くらいしか取れないときもありますので、メニューの工夫をしたり、体育館での練習後、体力UPのトレーニングを行ったりしますが、時間が短いせいとその密度は非常に濃いいいでしょう。練習中に気を抜く選手は独りもいませんし、スタッフも自分たちのやるべき持ち場をきちんとこなしています。

選手にはもともとその人に備わった能力がありますが、これとて平素の努力がなければ決して伸びませんし、能力と努力が重なると凄い力になります。逆に能力が多少低くても努力する選手については、それなりに評価して活躍の場を与えるようにしています。

今回全国制覇したことで他のチームにチャレンジされる立場になりましたが、これから強さを維持していくことも大変ですね。

今回の優勝はあまり嬉しいと感じていませんし結果に納得はしていません。たまたま決勝の青山学院大戦だけは快勝でしたが、それまでの勝ち上がりではミスも多く全くだめでしたので大いに不満なのです。もっと引き締めてさらに努力すればまだまだ強くなれるはずですし、上を向いて更に強いチームを目指すための課題は山積しています。また、選手たちはその要素を持っていますので、これからが本当の意味での勝負ですね。

陸川さんは選手だった頃技術的にも優れた努力の人という印象でしたが、指導者になって感じることはなんでしょうか？

今考えると選手のときの方が楽でしたね。どちらかといえば自分を磨くことに専念すればよかったですから。

指導者は技術を教えるだけでなく、選手のこと、チームのこと、練習のこと、取り巻く環境整備からリクルートまでやらなければならないなど活動範囲は広いですね。お陰さまで自分自身、人間が磨かれるという良い職業についたなと感じています。

逆に選手について感じることはありますか？

私たちが現役の頃は人の上下関係が厳しくしつけられましたが、最近の選手たちは上下関係がなく非常に仲がいいですね。上級生、下級生の隔たりが殆どないにも拘わらず、それぞれがやらなければならない役割分担はきちんとこなしています。

あとバスケットに取り組む姿勢が真面目です。外側からの見た目は生意気そうに見えるときもあるかも知れませんが、バスケットに取り組む姿勢は真剣そのものです。たまたま全日本に出ている選手はパブリセヴィッチ・ヘッドコーチに厳しくしつけられているせいか、練習に対する集中度などその厳しさが自然と身についてきています。あとは選手同士がそれぞれのいいところを自主的に学び取ってくれるのではないかと思います。

私は学生たちの自主性は尊重しますので、ディスカッションも対等に上下の隔てなく行うようにしています。学生たちの意見を聞くことによってコミュニケーションも良くなりますし、それまで自分が気づかなかった点の指摘があったりして、それらが私の判断材料

として役に立つ場合もあります。

この夏日本で男子の世界選手権大会が開催されますが、日本代表チームは決勝ラウンドに勝ち残れると思われますか？

日本代表チームについてはパブリセヴィッチ・ヘッドコーチが厳しく鍛えていますので、大いに期待したいですね。しかしながら予選リーグを勝ち抜いて、さいたまアリーナで行われるファイナルラウンドに進出することは大変だと思います。世界選手権に出場してくるチームはどれも凄いの技術とパワーを持っていますからね。

実は私も日本協会の主催で行われている、大学生、高校生のレベルアップのためのスプリングキャンプに、指導のお手伝いをしながら参加させていただきました。竹内兄弟を中心として、石崎、菊池、内海、酒井、井上、太田などといった今までになく大型で非常にいい選手がそろっているという感じです。過去、後藤正規選手が全盛だった頃、国際的に日本男子チームが台頭していた時期がありましたが、それに匹敵するかそれ以上の素晴らしい素材が多くそろっていて、将来強いチームができるなと感じました。

学生も含めてこうした選手たちが今後の日本チームを支える存在になるのではないかと思いますし、これから日本の中心選手になってやってくれると思いますので、そのときが日本にとって国際的に飛躍するチャンスだと思います。彼らが出場したアジアジュニア大会をみても得失点差で決勝には進めなかったのですが、優勝した中国には勝利していますので、この経験は相当な財産だと思います。

そうすると今年の世界選手権よりもその先の北京オリンピックの方が可能性ありということでしょうか？

今はなんとも予測しがたいですが、日本代表としては若手に加えて、たとえば松下の青野選手といったようなベテラン選手もミックスした方がより強くなるのではないのでしょうか。

自分のところの選手を例に出して恐縮ですが、たとえば石崎などは187cmのポイントガードで、もっと経験させれば国際的にも通用するガードになると思います。私も以前強化について意見を述べさせてもらったことがありましたが、国内での強化だけでなくもっと多く外国と対戦できるよう、いわゆる武者修行に出かけるべきだと思います。ヨーロッパでもアメリカでもいいですから出かけて行って、その厳しい環境下で生活しながら試合を重ねる、特に大型選手は肉体的にも精神的にもタフになることが必要だと思います。

日本を代表する選手が若返りつつある昨今、コーチ陣についても徐々に若返っていったほうが良いのではないかと思います。陸川さんのほかにも一昔前日本リーグで活躍した選手で、小野さん、池内さん、鈴木さん、瀬戸さんなどあちこちで指導者として頑張っておられる姿を見て、将来是非とも日本代表のコーチになっていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか？

そういう意味では小野秀二さんあたりがヘッドとして適任ではないかと思います。どなたかがヘッドをやってそれに周りのコーチたちがサポートするというシステムが良いと思います。また外国人のコーチングも大切ですのでアドバイザーコーチとしてお願いしたら良いのではないかと思います。

ただし船頭が多い陣容になるとスムーズにいかないこともありますので、トップは1名

でその考え方に沿う形で協力する体制を作ることが大事だと思います。また、選手の選考や強化策については強化委員会などで意見を出し合うことも賛成です。いずれにしても皆が一致団結して強化に取り組むことが必要でしょう。

日本のバスケット界も時世に合わせて変わる時期にきているのではないのでしょうか。今の学生たちのバスケットに対する考え方も、私たちが現役だった頃に比べれば変わってきています。

今回インカレで優勝したことによって、若い人たちの意見も取り入れながらまた勉強しなければならない良い機会を与えていただいたと思っています。

いずれにしても日本のバスケットがもっと発展するには、国際的に強くなって世間の注目を集めるようにならなければと考えます。国際的に強くなってオリンピックに常時出場するようになれば、マスメディアももっとこちらを向いてくれるでしょうし、良い方向に向くと思います。

陸川さんのように斬新な考えの方々に頑張ってもらっていて、日本バスケットの強化発展に力を貸していただきたいと思います。本日は有難うございました。

東海大学バスケットボール部（男子）

久保正秋部長、陸川ヘッドコーチのほかスタッフは、コーチ2名、学生コーチ5名、コンディショニングコーチ5名、トレーナー1名、メンタルトレーニングコーチ1名、マネージャー8名。

選手はAチーム21名、Bチーム27名。

神奈川県平塚市にキャンパス、体育館があり体育館はバスケットコート4面の広さ。

チーム名にシーガルズ（かもめ）という名前をつけて、地域密着型の大学チームを目指している。

JBLに比べて注目度、人気が低い大学バスケットの活性化を図り、人気上昇、集客率増加を目標としてさまざまな活動をしている。

ホームページによるチーム紹介や中学生、高校生を対象としたクリニックへの積極的な参加、地元にいる若いバスケットボールプレイヤーとの交流など。

将来は地元テレビ局による試合の放映も企画中。

ホームページURL <http://www.tokai-seagulls.com/>



molten®
For the real game

新・世界基準。



GL7/GL6 | GIUGIARO DESIGN

世界のあらゆるオフィシャルゲームに試合球を提供し続けるモルテン。進化したスタイルとテクノロジーが、次の、未来の、新たな基準となる。

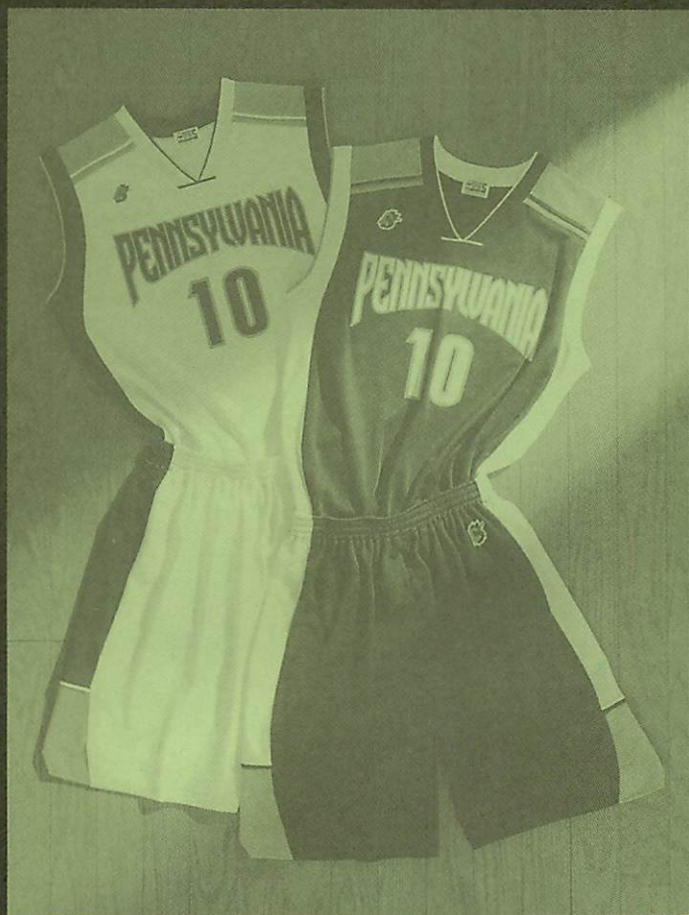
FIBA(国際バスケットボール連盟)公認の公式試合球として、数々の国際試合で採用されているモルテンのバスケットボール。ここに次世代の世界基準となるボールが誕生しました。デザイン開発はイタリアが誇る世界的なインダストリアルデザイナー、ジョルジュ・ジウジアーロ率いるチームが担当。パネルは従来の8面から12面へと変化。視認性が大幅に向上し、存在感あふれるスタイルになりました。その美しいデザインは、極限まで進化したテクノロジーに

支えられています。カーカス部分⁽¹⁾全体にクッション性に優れた高発泡ゴムを使用し、シーム周辺部⁽²⁾には耐久性とクッション性を兼ね備えている特殊ソフトゴムを使った“デュアル・クッション・テクノロジー”を採用。リバウンドスピードの向上とともに、内圧を従来よりも低く設定できることで、優れたグリップ性、ボールコントロール性、耐久性を同時に確保しました。また、ボール表面のシボ形状⁽³⁾を従来よりもフラットな状態にする“モルテンフラッ

トシボ”によって、プレーヤーの手に吸いつくような感覚を高め、究極のコントロール性能を実現。さらにシーム周辺部の段差をなくした“モルテンフルフラットシーム”により、つねに一定のバックスピンをかけることができ、より正確なボールコントロールが可能になりました。これまで培ってきた定評ある技術に、革新的なテクノロジーを融合して世界のスタンダードを創り続けるモルテン。このモデルがバスケットボールの未来を創り、新たな神話を描き始めます。

¹ 表皮と補強層との間の部分 ² パネルとパネルの縫い目 ³ ボール表面の突起パターン

DUPER®



WE ARE A SPECIALIST IN BASKETBALL GOODS.

DUPER FIVE CO., LTD.
3-5, TATEKAWA 3-CHOME, SUMIDA-KU, TOKYO 130-0023 JAPAN
TEL. TOKYO 03(3632)7045 FAX. TOKYO 03(3632)8327
URL: <http://www.duper.co.jp> E-mail: info@duper.co.jp

●2006ー2007デューパーNEWカタログをご希望の方は、住所、氏名、年齢、TEL、職業を明記し、切手390円を同封の上、上記住所までお申込み下さい。